

分散名人

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第6期(決算日2024年3月21日)

作成対象期間(2023年3月21日~2024年3月21日)

第6期末(2024年3月21日)	
基準価額	14,075円
純資産総額	11,627百万円
第6期	
騰落率	18.2%
分配金(税込み)合計	20円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択し、該当のファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「分散名人」は2024年3月21日に第6期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内外の7つの資産(国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

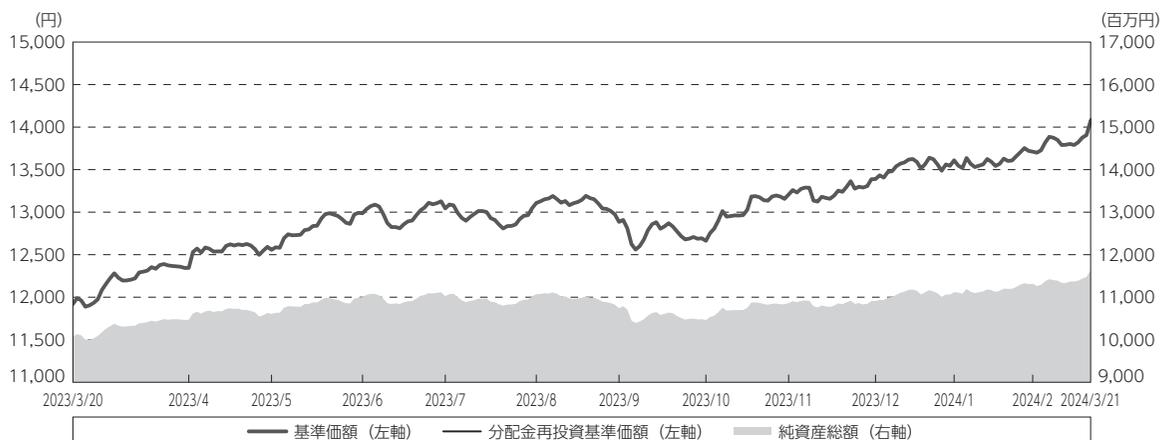
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年3月21日～2024年3月21日)



期首：11,920円

期末：14,075円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：18.2% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年3月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	13.9%	-5.1%
高利回りソブリン債券インデックスファンド	海外債券	14.1%	17.8%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	14.6%	58.0%
グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	グローバル株式	14.3%	40.0%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	14.7%	7.4%
グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	グローバルリート	13.9%	20.9%
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	14.3%	5.4%

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 騰落率は分配金再投資ベースです。

当ファンドの基準価額は、当期末において14,075円となり、期首比18.2%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の上昇となりました。なお、期中に分配金20円（税込み）をお支払いしました。

国内株式やグローバル株式などがプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2023年3月21日～2024年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	120	0.927	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(50)	(0.386)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(64)	(0.496)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(7)	(0.054)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	128	0.987	
期中の平均基準価額は、12,971円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

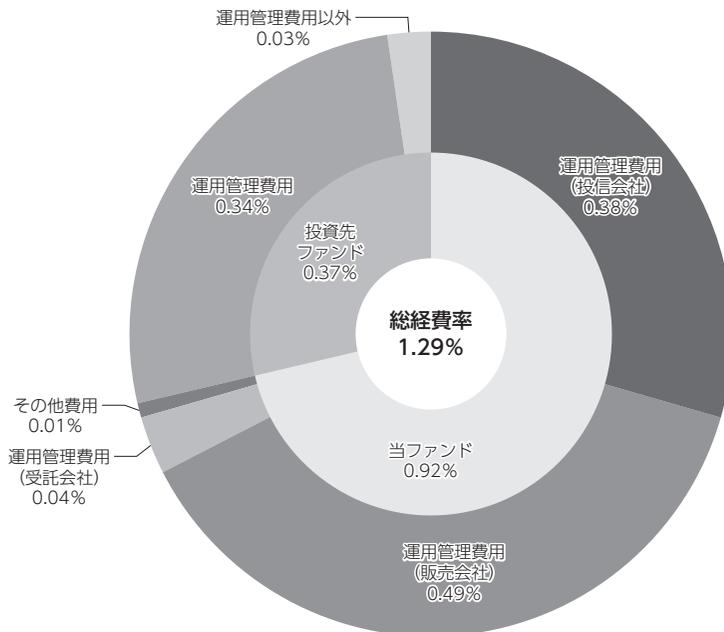
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.29
①当ファンドの費用の比率	0.92
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドの費用は、投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基にちばぎんアセットマネジメントが作成しています。

(注8) 投資先ファンドのうち、「運用管理費用以外」には、外国籍ファンドの費用の一部が含まれていない場合があります。

(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月20日～2024年3月21日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年3月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年3月20日 決算日	2020年3月23日 決算日	2021年3月22日 決算日	2022年3月22日 決算日	2023年3月20日 決算日	2024年3月21日 決算日
基準価額 (円)	10,310	8,766	11,583	12,193	11,920	14,075
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 15.0	32.1	5.3	△ 2.2	18.2
純資産総額 (百万円)	7,088	4,493	4,772	5,367	10,070	11,627

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定していません。

投資環境

(2023年3月21日～2024年3月21日)

国内債券市場

国内債券市場は、債券価格が下落（金利は上昇）しました。期初から2023年4月上旬にかけては、日銀の植田新総裁の就任を控えて金融政策修正への思惑が高まったことから債券価格は下落しましたが、6月下旬にかけては日銀の新体制が大規模な金融緩和策を維持したことが買ひ安心感につながり、上昇しました。11月上旬にかけては、日銀が長短金利操作の運用柔軟化を決定したことや米国金利の上昇、日銀による早期の金融政策正常化観測の高まりなどを受け、債券価格は下落しました。12月下旬にかけては、米国金利低下の流れが波及したことや、12月の金融政策決定会合後に行われた植田総裁の会見内容がハト派的と受け止められ、債券価格は上昇しました。期末にかけては、米国金利の上昇や日銀による大規模な金融緩和策の解除を織り込む動きが強まり、債券価格は下落しました。

海外債券市場

高金利海外債券市場は、債券価格が上昇（金利は低下）しました。期初から2023年5月下旬にかけては債務上限問題を背景とした米国政府の債務不履行への警戒感などから軟調に推移しました。7月中旬にかけては、米国の債務不履行が回避されたことや中国金融当局による利下げなどから、債券価格は上昇しました。10月中旬にかけては、米国での予想を上回る国債増発計画が示され需給バランスの悪化が意識されたことや金融引き締め長期化観測の高まりなどを受けて、債券価格は下落しました。12月下旬にかけては、米国の物価指標でインフレ鈍化傾向が示されたことに加え、12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利見通しが引き下げられたことを受けて早期利下げ期待が高まり、債券価格は上昇しました。期末にかけては、米国の物価指標が再び加速の兆しを示し、米国金融当局による早期利下げや急速な利下げの観測を是正する流れが広がり、債券価格は下落しました。

なお、為替市場では日本と海外主要国の金利差拡大などから、円安米ドル高が進行しました。

国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。期初から2023年9月中旬にかけては、米国地銀の破綻を契機に高まった金融システム不安が後退したことや米国の著名投資家が日本株に対して強気の見方を示したこと、米国の債務不履行が回避されたこと、米国ハイテク株の上昇を好感した値がさの半導体関連株への資金流入などを受けて、上昇しました。10月下旬にかけては、米国の金融引き締め長期化観測や米国金利の上昇、中東情勢の緊迫化などを背景に、下落しました。その後、期末にかけては米連邦準備制度理事会（FRB）のハト派的な姿勢への転換による米国の利下げ期待や、国内企業の資本効率改善への期待を背景とした海外投資家による日本株買ひの動き、国内企業の堅調な業績、生成AI分野の成長期待の高まりを受けた米国ハイテク株の上昇などを背景に、大幅に上昇しました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は上昇しました。期初から2023年4月中旬にかけては、欧米の金融不安に対する当局の迅速な対応から投資家心理が改善したことや、中国景気の持ち直し期待などを背景に、上昇しました。5月下旬にかけては、米国の債務上限問題や欧米銀行の融資態度厳格化の動きなどに対する警戒感から、下落しました。7月下旬にかけては、米国国債の債務不履行懸念の後退や欧米金融当局の利上

げ停止観測の高まり、中国の景気支援策への期待などを背景に、上昇しました。10月下旬にかけては、米国の金融引き締め長期化観測や中東情勢への警戒感、軟調な欧州経済指標を受けて、下落しました。その後、期末にかけては、欧米金融当局による利下げ期待が高まったことや米国ハイテク株の好決算を受けた半導体関連株の上昇、堅調な企業業績などを背景に、上昇しました。

なお、為替市場では日本と海外主要国の金利差拡大などから、円安米ドル高が進行しました。

国内リート市場

国内リート市場は上昇しました。期初から2023年7月下旬にかけては、植田日銀新総裁が現行の金融緩和政策を継続する姿勢を見せたことや米国の債務不履行が回避されたこと、国内株式市場の上昇などが追い風となり、上昇しました。8月下旬にかけては、都心部オフィスの平均賃料の下落や国内長期金利の上昇などが重しとなり下落しましたが、9月上旬にかけては中国からの団体旅行解禁によるホテル系リート銘柄の業績改善期待などを背景に、上昇しました。2024年3月中旬にかけては、日銀による金融緩和政策の修正観測の高まりや都心部オフィスの平均賃料の下落、米国の商業用不動産市場の混乱に対する警戒感などを背景に、下落しました。期末にかけては、これまでの下落でリートの割安感が注目されたほか、日銀による大規模な金融緩和策の解除後も国内長期金利が落ち着いた動きとなったことなどが好感され、大幅に反発しました。

グローバルリート市場

グローバルリート市場は上昇しました。期初から2023年7月下旬にかけては、米国の債務不履行の回避や株式市場の上昇、インフレ指標の鈍化を受けた米国の利上げ長期化観測の後退などを背景に、上昇しました。10月下旬にかけては、欧米金融当局による金融引き締め長期化懸念の高まりや中東情勢の悪化、ユーロ圏の経済指標の悪化などをを受けて、下落しました。12月下旬にかけては、米国における利下げ期待の高まりを受けた米国長期金利の低下や、欧州中央銀行（ECB）が政策金利の据え置きを決定したことなどが好感され、上昇しました。2024年2月中旬にかけては、米国における商業用不動産向け融資の不良債権化懸念の高まりや、欧米金融当局による早期利下げ観測の後退などが重しとなり、下落しました。期末にかけては、人工知能関連の需要の高まりを追い風にデータセンターなどのリート価格上昇が下支えとなったほか、米国金融当局による年内の利下げ期待などから、持ち直しの動きとなりました。

なお、為替市場では日本と海外主要国の金利差拡大などから、円安米ドル高が進行しました。

金市場

金価格は上昇しました。期初から2023年5月上旬にかけては、金融システム不安の高まりや米国景気の先行き警戒感から相対的に安全資産とされる金が選好され、上昇しました。10月上旬にかけては、米国の利上げ長期化観測による米国長期金利の上昇や、為替市場で円安米ドル高が進行したことなどが売り材料視され、下落しました。12月上旬にかけては、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりや米国の利下げ期待を背景に、上昇しました。2024年2月中旬にかけては、米国の利下げ観測の後退から米長期金利が上昇したことなどをを受けて下落しましたが、期末にかけては地政学リスクに対する根強い警戒感に加え、米国金融当局による年内の利下げ期待などを背景に金が選好され、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年3月21日～2024年3月21日)

○当ファンド

当期末における各投資対象ファンドの組入れ比率は以下の通りです。なお、各投資対象ファンドへの投資割合は、7分の1ずつの均等配分を基本とします。

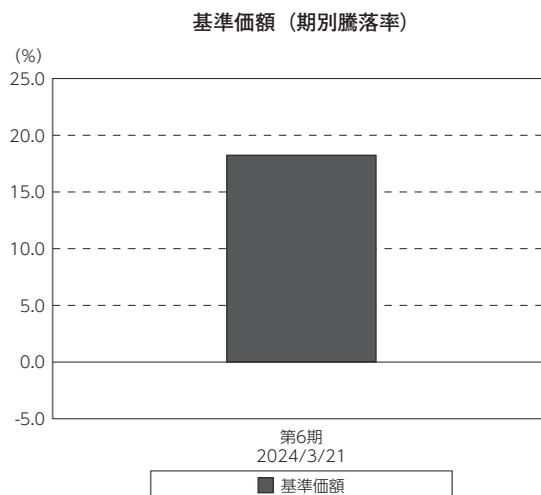
組入ファンド	投資資産	当期末組入比率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	13.9%
高利回りソブリン債券インデックスファンド	海外債券	14.1%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	14.6%
グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	グローバル株式	14.3%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	14.7%
グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	グローバルリート	13.9%
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	14.3%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月21日～2024年3月21日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2023年3月21日～2024年3月21日)

分配金額は、経費控除後の配当等収益、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり20円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第6期
	2023年3月21日～ 2024年3月21日
当期分配金	20
(対基準価額比率)	0.142%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,056

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後も日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券(ETF)等を実質的な投資対象とする各主要投資対象ファンドを通じて、中長期的に収益が期待できる7つの資産に均等に投資を行ってまいります。

引き続き、値動きが異なる傾向にある7つの資産を組み合わせることにより、基準価額の変動を抑えながら、収益の獲得を目指してまいります。

お知らせ

投資信託約款に以下の変更をいたしました。(変更日：2023年12月21日)

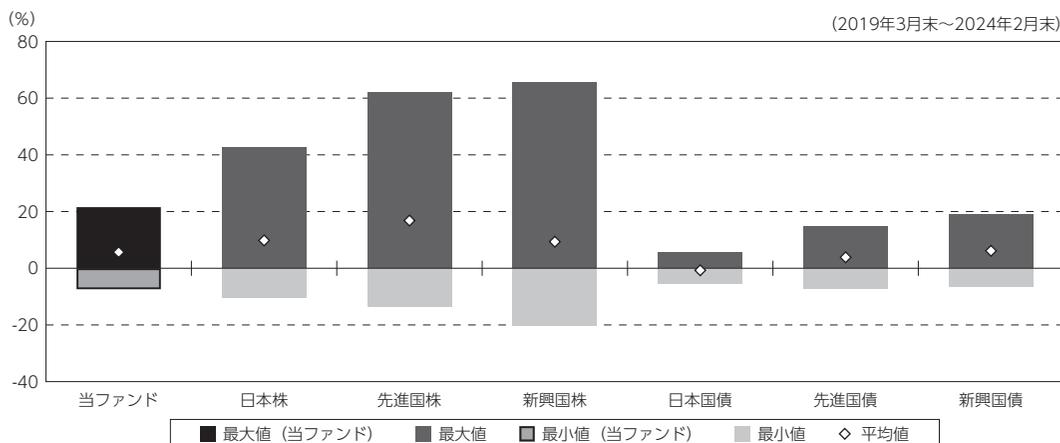
- ・運用の基本方針における当ファンドのデリバティブに関する文言の変更
- ・受託銀行から借入れを受ける際の借入限度額の条件が緩和されたことを受けた資金の借入上限の削除

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年5月16日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	国内外の7つの資産（国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金）それぞれに投資をする各投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、投資信託証券を通じて、国内外の7つの資産（国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金）へ均等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.6	42.8	62.2	65.6	5.5	14.8	18.9
最小値	△ 7.4	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	5.7	9.8	16.8	9.3	△ 0.7	3.9	6.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2019年5月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年3月21日現在)

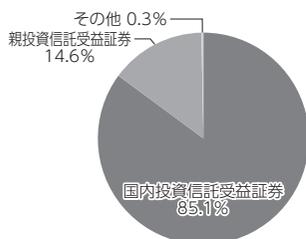
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
	%
Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)	14.7
日本株好配当マザーファンド	14.6
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	14.3
その他	56.1
組入銘柄数	7銘柄

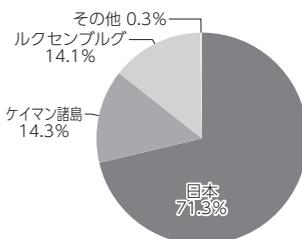
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

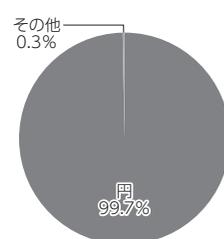
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注4) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第6期末
	2024年3月21日
純資産総額	11,627,821,736円
受益権総口数	8,261,134,782口
1万口当たり基準価額	14,075円

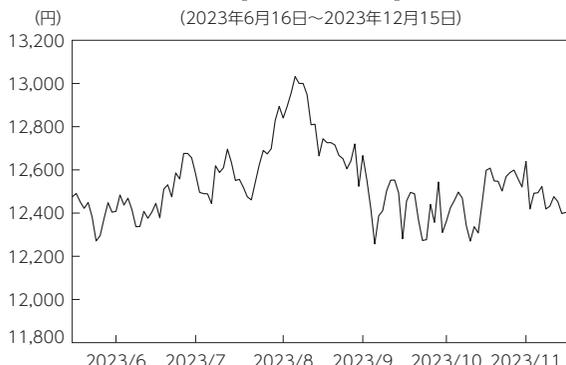
(注) 期中における追加設定元本額は1,603,851,029円、同解約元本額は1,790,967,033円です。

組入上位ファンドの概要

Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】

(2023年6月16日～2023年12月15日)



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年6月16日～2023年12月15日)

項 目	第62期～第67期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	35 (31) (1) (3)	0.275 (0.248) (0.005) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	5 (5)	0.037 (0.037)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用 等)	2 (0) (2)	0.017 (0.001) (0.016)
合 計	42	0.329

作成期間の平均基準価額は、12,582円です。

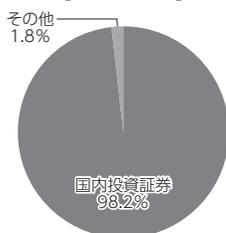
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

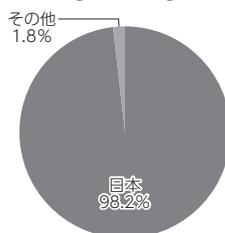
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	GLP投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	6.4%
2	インヴィンシブル投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	6.2%
3	日本都市ファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.8%
4	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.7%
5	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.7%
6	大和証券オフィス投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.3%
7	ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.0%
8	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.9%
9	オリックス不動産投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.8%
10	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.5%
	組入銘柄数		25銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

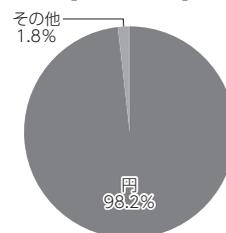
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年6月15日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

日本株好配当マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月21日～2024年1月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	39 (39)	0.164 (0.164)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	39	0.164

期中の平均基準価額は、23,727円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

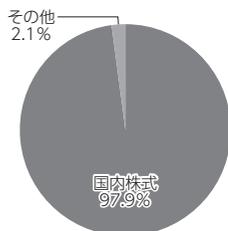
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	2.9%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	2.7%
3 日本電信電話	情報・通信業	円	日本	2.6%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.4%
5 三菱商事	卸売業	円	日本	2.2%
6 KDDI	情報・通信業	円	日本	2.1%
7 伊藤忠商事	卸売業	円	日本	2.0%
8 ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	2.0%
9 東京海上ホールディングス	保険業	円	日本	2.0%
10 日立製作所	電気機器	円	日本	2.0%
組入銘柄数	122銘柄			

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

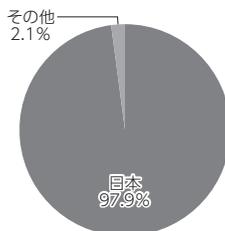
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

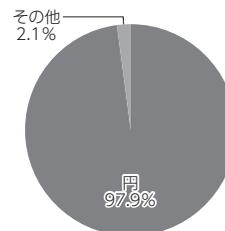
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2024年1月22日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月9日～2023年7月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投資信託会社) (販売会社) (受託会社)	18 (12) (1) (4)	0.144 (0.100) (0.011) (0.033)
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.005 (0.005)
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等) (その他)	4 (1) (0) (2) (0)	0.030 (0.011) (0.002) (0.017) (0.000)
合計	23	0.179

期中の平均基準価額は、12,388円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	49.0
2 SPDR GOLD MINI SHARES TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	40.0
3 SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	7.1
4 ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	6.8
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数	4銘柄			

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年3月8日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstar インデックス」といいます）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」といいます）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstar インデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstar インデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および／または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。